

貸借対照表

(平成27年 3月 31日現在)

ユナイテッド・シネマ株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,322,324	流動負債	2,979,322
現金及び預金	381,767	買掛金	1,495,380
売掛金	561,599	リース債務(1年以内)	188,990
未収入金	200,847	未払金	125,701
商品	76,456	未払費用	591,342
貯蔵品	38,958	賞与引当金	91,343
前払費用	390,325	未払法人税等	35,202
短期貸付金	272,802	未払消費税等	139,819
その他流動資産	9,057	預り金	80,244
短期繰延税金資産	390,510	前受収益	229,943
		その他流動負債	1,356
固定資産	8,785,107	固定負債	3,182,671
(有形固定資産)	3,062,634	長期借入金	635,700
建物	491,372	長期リース債務	480,159
建物付属設備	1,681,276	退職給付引当金	207,268
器具及び備品	522,185	役員退職慰労引当金	1,857
リース資産(有形)	367,799	預り保証金	198,000
(無形固形資産)	113,953	資産除去債務	1,659,686
ソフトウェア	98,833	負債の部合計	6,161,994
電話加入権	15,120	純 資 産 の 部	
(投資その他の資産)	5,608,519	株主資本	4,945,437
差入保証金	3,499,834	(資本金)	100,000
長期貸付金	1,948,988	資本金	100,000
長期前払費用	23,446	(資本剰余金)	2,141,376
破産更生債権等	168,585	その他資本剰余金	2,141,376
貸倒引当金	△ 168,585	(利益剰余金)	2,704,060
長期繰延税金資産	136,250	その他利益剰余金	2,704,060
		繰越利益剰余金	2,704,060
		純 資 産 の 部 合 計	4,945,437
資 産 の 部 合 計	11,107,431	負債及び純資産合計	11,107,431

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 会計処理基準に関する事項

①重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法によっております。
無形固定資産	自社利用のソフトウェアについて社内における利用期間(5 年)に基づく定額法によっております。

② 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金	債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、破産更正債権等については財務内容評価法により回収不能見込額を計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計に関する実務指針の小規模企業等における簡便法を適用し、退職給付に係る当事業年度末自己都合要支給額を退職給付債務として計上しております。
役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
賞与引当金	従業員に支給する賞与の当会計年度負担分について、支給見込額基準により計上しております。

③リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする会計処理を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リースの取引のうち、リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

④消費税等の処理方法

税抜方式によっております。

上記金額には、減損損失累計額が含まれております。